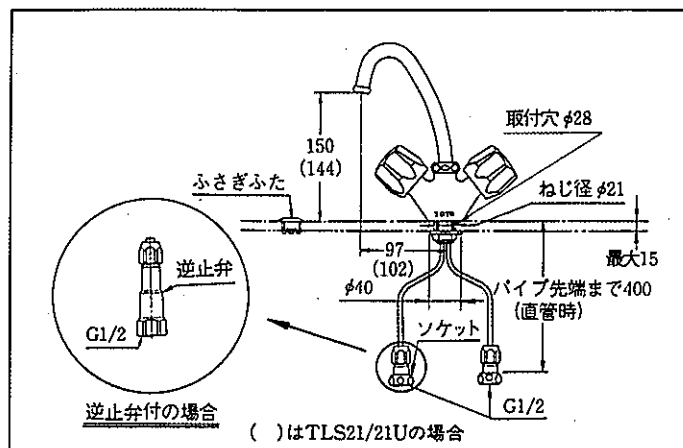


湯水混合水栓施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

完成図

逆止弁なし (TLS21, TLS21U)



(注) 品番によっては図と現品の形状が一部異なります。

使用条件

1. 使用水圧

給水・給湯圧力 { 最低必要圧力…0.05MPa
最高圧力…0.75MPa

(1) 給水・給湯圧力はできるだけ同圧になるようにしてください。

2. 給湯に蒸気を使用しないでください。

3. 湯・水を逆配管しないでください。

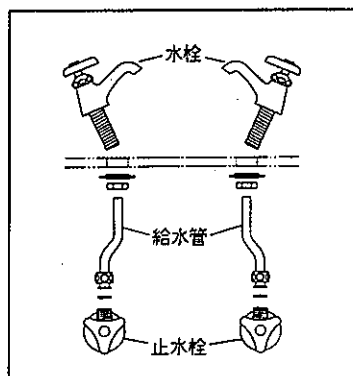
なお給湯機からの給湯管は抵抗を小さくするため最短距離で配管し、配管には必ず保温材を巻いてください。

器具の取付け

1. 既設器具の取りはずし

取替え工事の場合は既設の水栓及び給水管を取りはずしてください。水栓の取りはずしには別売のナット締付専用工具 (TZ15L) を利用ください。

(注) 止水栓は取りはずさないでください。



2. 給水管内の清掃

器具を取付ける前に必ず給水管内のごみ、砂等を完全に洗い流してください。

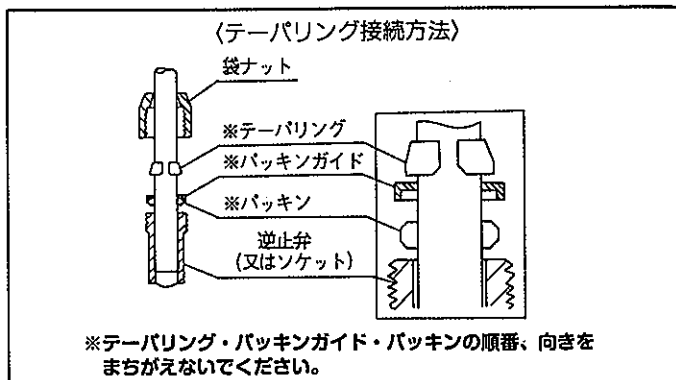
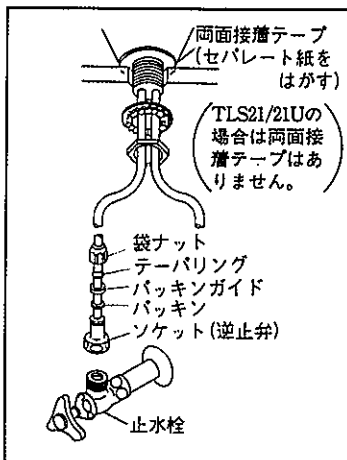
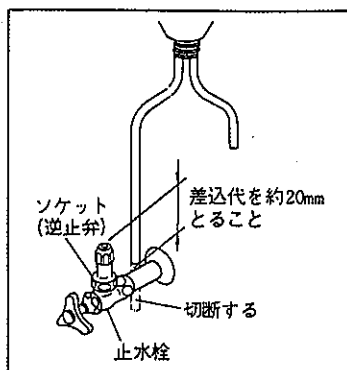
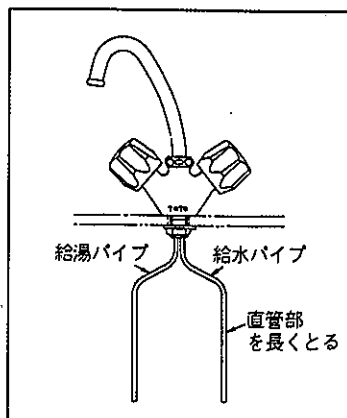
3. 混合水栓の取付け

(1) 水栓本体のTOTOマークを前に向けて仮固定し、給水・給湯パイプを止水栓の取出し心に合うように曲げて広げます。このとき、できるだけ直管部分が長くなるようにしてください。

(注) TOTOマークを後ろ向けると湯・水のハンドルが逆になります。

(2) ソケット (逆止弁) を止水栓に仮固定して、給水・給湯パイプの必要長さをあたり切断します。このとき、ソケット (逆止弁) への差込代を約20mm確保してください。

(3) 給水・給湯パイプに袋ナット、テーパリング、パッキンガイド、ゴムパッキンの順に入れて、ソケット (逆止弁) を差し込みます。次にソケット (逆止弁) を止水栓にねじ込み、混合水栓本体を本固定してください。



○ 水栓本体を固定するときは、取付穴周囲の汚れをとり、セパレート紙をはがしてください。

(TLS21/21Uの場合は、ゴムパッキンですのでセパレート紙はありません)

また、固定には別売のナット締付専用工具 (TZ15L) を利用して確実に締めてください。

(4) 最後に給水・給湯パイプをソケット (逆止弁) に押しつけ、袋ナットを手締後1回転以上締付けてください。

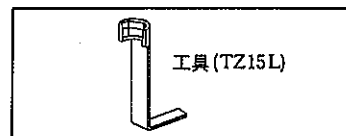
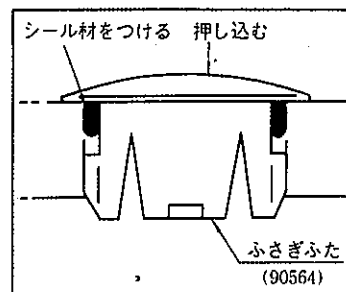
(注) 給水・給湯パイプの抜け防止のため、給水・給湯配管は動かないよう確実に固定してください。

4. ふさぎふたの取付け

この混合栓には、ふさぎふた1個を付属させています。ふさぎふたは、単独水栓が2個付いていたものを取替えた場合などに、余った洗面器の穴をふさぐものです。

ふさぐときは、ふさぎふたにシール剤をつけて洗面器の穴に押し込んでください。

※水栓の取付け、取りはずしには別売のナット締付専用工具 (TZ15L) をご利用ください。



お手入れ

器具がいつまでも美しさを保つように、お客様にお手入れ方法をご説明ください。

1. 水栓の表面や樹脂部を傷つける以下のものは絶対に使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤
- ・磨き粉など粗い粒子を含んだ洗剤
- ・ナイロンたわし、ブラシなど

もしタイルを酸性洗剤で洗った場合は、すぐにタイル及び器具を十分水洗いしてください。

2. 軽い汚れの場合は水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って、汚れをふき取ってください。ひどい汚れの場合は、適量にうすめた食器用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取った後、水洗いし、からぶきしてください。